

平成 21 年度 横浜市つたのは学園運営報告

平成 21 年度は、横浜市の運営方法をできるだけ踏襲し、利用者、ご家族の動揺を少なくする運営することとしました。

利用者、ご家族とも安心していただいたが、2 名の退所者が今後の不安を持たれての退所ということで、いかにセーフティネットを作っていくかが次年度の緊急課題となります。

1. 総務について

(1) 総務関係

- ① 指定管理者として横浜市と連携を密にし、地区センターと協力し運営を実施した。
- ② 健康福祉局の予算で、トイレ改修工事。まちづくり調整局の予算で空調機設置工事を実施した。
- ③ 自立支援給付費、指定管理料、補助金の請求を行う。
- ④ 福祉・介護職員人材処遇改善事業に基づき、手続きを行う。

(2) 調理関係

- ① いわまワークス、偕恵の栄養士の協力を得、支援員、医務、委託業者との給食会議を毎月開催し、よりよい給食のあり方を模索した。
- ② 利用者の健康状態、性別、年齢等を考慮し、バランスの取れた食生活を提供。
- ③ 選択メニューを毎月実施し、利用者を選べる楽しさを提供し、給食メニューを写真にとり、利用者に感想を聞き献立にいかした。
- ④ 手洗いの徹底、エンボス手袋、マスクを着用し、ノロウィルスの予防、衛生管理の周知徹底を図った。
- ⑤ 災害時の食糧の管理。(3 日分)
- ⑥ 食材は、あえて地元の業者を利用し、地元との連携を図った。

2. 支援面について

自己選択、自己決定、利用者本位のサービス、権利擁護、地域移行、危機管理等を職員一人ひとりが認識を深め、より質の高いサービスが提供できるよう努めた。

家族支援においては、緊急時、レスパイトを含め、偕恵、いわまワークスのショートステイを利用、協力を得る。

(1) 光と風 (9 名)

- ① 畑や園庭で農作物や花を栽培。収穫物の調理等を行う。
- ② 天気のいい日は散歩を心がけ、健康に留意した。

(2) こもれび (10 名)

- ① 天候や出欠の状況を見て柔軟に活動。重複障害の方が多く、個別支援を心がけた。
- ② 横浜市リハビリテーションセンターの協力を得て、重複障害利用者の車いすを使いやすくした。

(3) クラフティ (11 名)

- ① 唯一生産活動を取り入れ、作品を通して地域とのかかわりを心がけた。
- ② 家族機能が弱い利用者に対し、ケースワーカーと連携をとり関係者会議を実施した。

(4) 全体活動について

- ① スポーツ活動、文化活動を交互に行い、活動がマンネリ化せず、多くの利用者が楽しめるプログラムを心がけた。
- ② クラブ活動は、少人数で、八つのクラブに分かれ、月 2 回活動を行った。利用者の楽しみを念頭に置き、入浴等生活支援の役割を果たした。

(5) 医務について

- ① 感染防止マニュアルを作成し、インフルエンザ防止対策を実施。
- ② 嘱託医のアドバイスもあり健康診断に血液検査を取り入れた。

③ 看護師が利用者登園時の健康観察を行い、時間を見て医務的支援を行った。

3. 苦情解決・O.P等受け入れについて

(1) 今年度オンブズパーソン2名来園10回、初回は家族会にて挨拶、説明。職員会議にてOP活動のレクチャーを行い、おもに利用者の日中活動に参加してもらった。日常的な出来事の話しが中心で要望や訴えについては推進員が口頭で状況説明。

(2) 利用者が通勤途上、近隣者に威嚇行動があると2件の苦情あり。本人、ケースワーカー、家族との話し合いの結果、送迎ボランティアの協力を得ることとした。

4. 地域その他

- (1) 地区センターと共同でロビーコンサート実施。
- (2) 地区センター、長津田小学校と連携してお祭り実施。
- (3) 職業体験実習生の受け入れ(2中学校8名)

5. 教育実習生等の受入れ状況について

本年度は1校、2名を受け入れ、施設の行事や業務に影響ないよう無理のない範囲で受け入れた。

6. ボランティアの受け入れ

年間延べ人数として日中活動252人、行事72人、その他2人、計326人を受け入れた。作業、余暇、行事参加では定期での参加が定着し、ボランティアが主体的に関わることができるようになってきている。

7. 諸状況について(平成22年3月31日現在)

- (1) 入退所状況：緊急時送迎、ショートステイがないということで2名退所。若い利用者が少ないということで特別支援学校からも二の足を踏まれ、利用者増につながらず。

入退所者	入・退所月	事由
退所2名	6月・3月	地域活動ホーム
入所3名	7月・8月・3月	在宅より

- (2) 出席状況(年間稼働日数234日)

月平均出席率43.8%

月	4	5	6	7	8	9	
月定日数(実日数)	22(21)	23(18)	22(22)	23(22)	23(18)	22(19)	
出席率	46.3(48.5)	35.1(44.9)	40.0(40.0)	40.1(41.9)	32.4(41.4)	40.4(46.7)	
月	10	11	12	1	2	3	計
月定日数(実日数)	23(20)	22(19)	23(18)	23(19)	20(19)	23(19)	269(234)
出席率	38.0(43.7)	38.1(44.1)	35.2(49.0)	34.4(41.7)	40.5(42.6)	37.5(45.4)	38.1(43.8)

- (3) 年齢について 最年長者：62歳、最年少者：21歳

年齢	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	平均
男	4	7	6	1	1	0	39.4
女	3	2	4	1	0	0	37.8
計	7	9	10	2	1	0	38.8

- (4) 療育手帳(障害程度)について

障害程度	A1(0~20)	A2(21~35)	B1(36~50)	B2(51~75)	合計
人数	18	6	3	2	29

- (5) 障害程度区分

区分	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
人数	1	3	10	9	6	29

(6) 在所年数について

年数	～2年	～3年	～5年	～10年	～15年	～20年	～29年	30年以上	合計
人数	4	1	1	3	6	6	8		29

(7) 身体障害（手帳所持）について

障害等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級
	4	3	0	0	0	1

(8) 主な研修・会議について

施設協会関係	県・市社協・その他	園内	
関東ブロック 1名	研修・講演会 13名	支援会議 18回 日常運営会議 12回	職員会議 12回 給食会議 12回 園内研修会 3回